

# 平戸市立ひらど幼稚園の食育 ～命を育て、命をいただき、命をつなぐ～

より良い食習慣を身につけ、心豊かにいきいきと活動する子どもの育成  
～食育における家庭・地域との連携を生かした多様な体験活動を通して～

本園における食育は、平成17年の食育基本法制定以来、園内外の豊かな農漁業環境を生かした栽培・生産体験活動等を地域の人材や保護者との連携のもとに指導。本園の完全給食を生かした給食指導をもとに栄養教諭等との連携のもとに指導を続けてきた。

さらに平成23年度に文部科学省委嘱・長崎県指定の幼稚園教育理解推進事業の指定を長崎県下公立幼稚園の代表として受け、研究の継続に取り組んでいる。

## 好き嫌いせず、何でも食べよう なぜ？

平戸幼稚園の食育では、栄養学的視点から栄養をバランスよく摂取することは勿論、それ以上に、全ての食材になる物は、私達と同じように、生きていて、命があること、その命を戴き、私達は生きていること、従って、全ての食材の命を戴く感謝の視点から、残さず、何でも戴く(食べる)食育をしている。

## 平戸幼稚園の食育の永遠のテーマ 『命を育て、命をいただき、命をつなぐ』

上述のような、思いを抱き、実践できるように、“自分たちで、野菜さん達の命を育てる”“そして、その命を戴く”“さらに、その命をつないであげる”体験を仕組んでいる。

『つなぐ』という視点では、年長組は、「お魚さんは、料理され、死んでしまったけど、それを食べた私達の体の中で生きている。私たちの命とつながっている。」まで気づけるよう、【多様な領域の体験活動】を仕組んでいる。

## 実践事例

### 1 漁業体験活動の領域(ひらどっ子漁師体験)



「大きくなってね。」



「かわいそう！」



「命が動いている！」



「命を戴きます。」

### 2 農業体験活動の領域(“畑ちゃん”作り)



「どっこいしょ。」



「沢山とれたよ！」

### 3 農業体験活動の領域(バケツ稲作り)



「バケツたんぼできたよ。」



「稲刈りだー！」

### 4 命を繋ぐ体験活動(種を採り、蒔く)



「種を採ってやったよ。」

「命がつながったぞ！」

「バンザイ！出来上がったぞ！」

こんなにあくさんのそして、貴重な体験が出来たのも、家族のみんな、地域の方々等、多くの人のおかげがあったから。[ありがとう、ありがとう。]

### 5 表現体験活動の領域(キッズゲルニカ制作)



『みんなのいのち みんな仲良し』をテーマに、体験活動での思いをみんなでゲルニカに描いたよ。

[健康 = 平和]